

広域連携部会取組状況

No	部会名	担当県
1	広域防災部会	山口県
2	スギ・ヒノキ花粉症対策部会	岡山県
3	有害鳥獣対策部会	鳥取県
4	中山間地域振興部会	島根県
5	サイクリング部会	広島県
6	地域産業振興部会	山口県
7	広域デジタル部会 (防災情報システムWT)	山口県 (広島県)

広域防災部会

連携テーマ	これまでの取組(令和4年度)	今後の取組(令和4年度)
<p>大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG (岡山県・山口県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難体制の検討 ・協定に基づく各県共有情報(食料等調達可能数量、受入拠点等)の更新 ・広域物資輸送拠点開設等訓練及び運営計画作成に向けた現地調査の実施 ・関西広域連合との協定に基づく情報の交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策基本法の改正に伴う広域避難体制に係る災害時相互応援協定や支援・受援マニュアルの改定 ・中国5県共同防災訓練を踏まえたマニュアルの改定 ・現地調査を踏まえた広域物資輸送拠点活用の実効性を高めるための調整等の推進 ・関西広域連合との情報交換の継続
<p>防災訓練・人材育成WG (鳥取県・広島県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国5県共同防災訓練の実施方法などを協議 ・各県が実施する訓練・研修等に係る情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国5県共同防災訓練の実施 ・各県訓練、研修の相互参観、参加
<p>原子力災害を想定した連携と調整等WG (島根県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供 ・情報共有体制の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供 ・情報共有体制の継続

災害時相互応援協定の改定について

趣旨・経緯

令和3年5月の災害対策基本法改正において、災害が発生するおそれがある段階から自治体間の広域避難に係る協議を可能とする規定が新設された。

これを受け、「中国5県災害等発生時の広域支援に関する協定」について所要の改定を行う。

改定内容

協定前文の適用される災害等の定義について、災害が発生するおそれがある段階も含まれるよう、文言を修正する。

今後の流れ

- 当会議後、文言について各県と調整し改定案を作成
- 幹事県より改定案を提示
- 各県で手続きを完了後、施行

※今後、マニュアルについても現行の広域避難に関する記載について修正を検討し、必要な改定を行う。



大規模河川氾濫時の他市町村への避難イメージ

スギ・ヒノキ花粉症対策部会

■連携テーマ

- ① 中国地方連絡会議の開催
- ② 苗木等の相互融通と植替えの促進
- ③ ヒノキに関する調査研究
- ④ 普及啓発活動



■テーマ毎の進捗状況

連携テーマ	目標	令和3(2021)年度実績	令和4(2022)年度見込
① スギ・ヒノキ花粉症対策推進 中国地方連絡会議の開催	・連絡会議の開催(年1~2回)	・2回開催 ・植替えの促進に向けた目標の見直し ・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有	・2回開催 ・少花粉苗木等生産技術の向上について情報交換及び課題の共有
② 少花粉スギ・ヒノキ苗木等の相互融通と植替えの促進	・中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合令和7(2025)年度に50% (少花粉スギ苗木580,000本 /スギ全体1,161,000本)	・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 22% (少花粉スギ苗木141,972本/スギ全体649,501本) ・少花粉苗木等の相互融通 少花粉スギ苗木：岡山県→島根県 少花粉スギ種子：岡山県→広島県	・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 16% (少花粉スギ苗木144,000本 /スギ全体886,000本) ・少花粉苗木等の相互融通
③ ヒノキ特定母樹の少花粉品種に関する調査研究	・調査研究結果の情報共有	・調査研究の情報共有	・調査研究の情報共有
④ 少花粉スギ・ヒノキ等に関する普及啓発活動	・リーフレットの配布等	・普及啓発用付箋紙の作成・配布 ・モデル林設置 2箇所【累計37箇所】	・普及啓発用メモ帳の作成・配布 ・モデル林の設置 1箇所

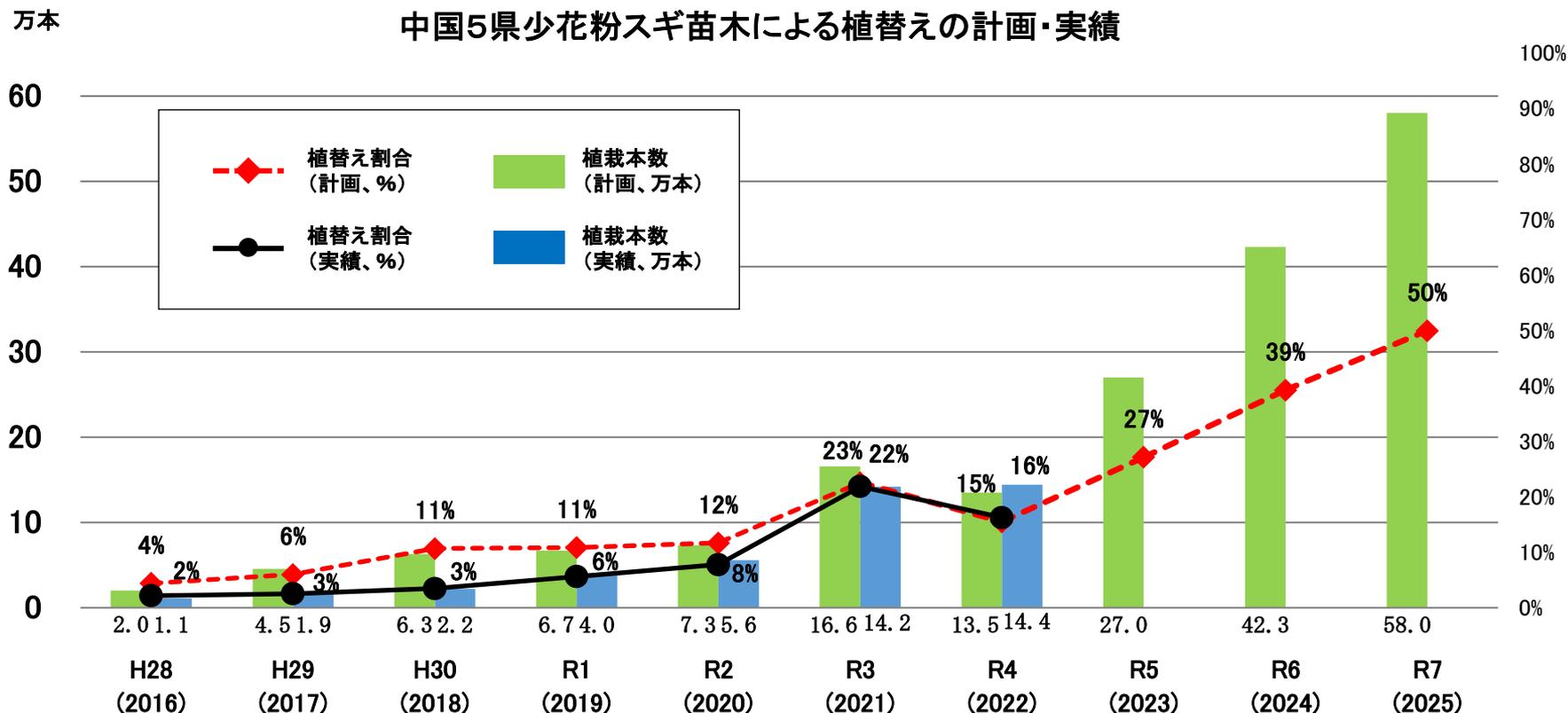
スギ・ヒノキ花粉症対策部会

■植替えの促進(少花粉スギ)

中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合を令和7(2025)年度に50%とする。

[参考数値] 令和7(2025)年度の少花粉スギ苗木の植栽計画本数 580,000本
※ただし、計画本数は今後の苗木の需給動向により随時見直す。

■中国5県トータルの計画・実績



※R4(2022)年度実績は見込

有害鳥獣対策部会

連携テーマ

野生イノシシ、ニホンジカ、カワウに係る広域連携体制の構築

〔取組の方向〕 ①生息状況の情報共有 ②捕獲、被害対策の取組状況の情報交換 ③広域的な取組方針の検討

取組体制

獣種	取組主体	広域的な取組方針
野生イノシシ	中国5県豚熱等に係るイノシシ検討会	中国5県豚熱等に係る野生イノシシ対策行動指針(R2.12改訂)
ニホンジカ	中国5県ニホンジカ対策連絡会	中国5県ニホンジカ広域管理方針(H31.3)
カワウ	中国5県カワウ対策連絡会	中国5県カワウ広域管理方針(H31.3)

取組内容

《野生イノシシ》

野生イノシシ対策行動指針に基づき、広域連携体制を構築

→ 検討会を核として、5県が連携した対策を実施中

(1) 野生イノシシの養豚場への侵入防止対策強化

- ☑ 全農場で侵入防止柵を設置
- ☑ 侵入防止柵の点検等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底

(2) 捕獲対策の強化

- ☑ 狩猟期(11月～3月)を中心に重点エリアの設定と捕獲強化
- ☑ 豚熱まん延防止のため、5県で捕獲強化の継続

(3) 野生イノシシにおける拡散防止対策

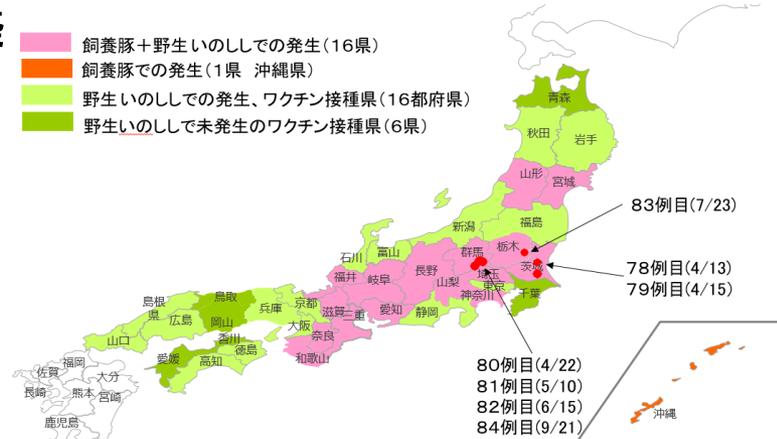
- ☑ **山口県、広島県、島根県での感染確認により、ワクチン接種推奨地域が5県に拡大し、9月までに4県が経口ワクチンを散布**
- ☑ 中国5県で野生イノシシのモニタリング強化(R4年4月～)

(4) 中国5県での豚熱等に係る情報交換会、検討会

(第1回8月17日情報交換会開催、第2回11月開催予定)

- ☑ 侵入防止対策の徹底と防疫・捕獲対策に係る情報共有
- ☑ 農林水産省や専門家によるイノシシ対策の助言等

【国内の豚熱発生状況】令和4年9月30日時点



全国では**32都府県**で野生イノシシの感染確認

○中国管内ではR4年3月17日に山口県岩国市で初確認し、その後広島県大竹市、島根県吉賀町等でも確認
 ○3月24日に農林水産省が島根県、広島県、山口県をワクチン接種推奨地域に設定

⇒4月中旬から3県で飼養豚へのワクチン接種開始

○各県における豚熱ウイルスのモニタリング対策強化及び野生イノシシ対策、飼養豚での発生に備えた5県での情報共有の強化

有害鳥獣対策部会

《ニホンジカ》

(1) 広域的な生息状況の共有

- 最新の調査結果を共有し生息域を把握
 - ・個体数が増加…鳥取・広島・山口
 - ・個体数が減少傾向…岡山
 - ・生息域が拡大中…鳥取(西部)、岡山(北中部～南東部)、広島(中央)、山口(西部)



(2) 「捕獲強化月間」の設定

- 狩猟期前の捕獲強化月間(10月)の取組を継続
捕獲数は増加傾向【鳥取・岡山・山口】

(3) 生息動向を踏まえた地域別対策

- 県境域や分布拡大地域等を踏まえた捕獲強化を継続
 - ・国の指定管理鳥獣捕獲等事業を実施【鳥取、島根、広島、山口】
 - ・捕獲強化月間に捕獲強化【鳥取・岡山・(兵庫)、山口】
 - ・国鳥獣交付金による広域捕獲事業を3市町で実施【広島】
- 連絡会議等での県境地域における情報共有推進
【鳥取・岡山(・兵庫)、島根・広島】

(4) 人材育成

- 捕獲技術向上の研修会を継続実施
【鳥取・島根・岡山・広島・山口】
- 兵庫県との捕獲技術向上合同研修会を継続(2月予定)
【鳥取・岡山】

(参考)ツキノワグマ

- 中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報の共有及び市町村への情報発信を継続中
- 令和4年度から兵庫、鳥取、岡山による東中国地域個体群を対象とした管理を開始【鳥取、岡山】

《カワウ》

(1) 「被害防除強化期間」(年3回)の取組

- 「被害防除強化期間」として設定した、アユの「遡上」、「放流」、「産卵及び盛漁期」の期間中に一級河川等での対策を継続
【実施状況】令和4年3月～令和4年7月(遡上、放流)の期間
【追払い】25水系 【テグス張等】22水系・のべ101箇所



被害防除対策と併せ、捕獲したカワウの胃内容物を調査することにより、カワウによる被害状況を確認

(2) 個体群管理の取組

- ドライアイスによる繁殖抑制を継続 【広島】
- 繁殖抑制対策を実施しやすい場所への営巣場所の誘導を検討・調査(新規) 【鳥取】
- 県北部のねぐら・コロニーにおける対策(ひも張り)を実施(4～3月) 【岡山】

(3) 中国5県カワウ対策連絡会の開催

- 最新の生息域を共有(ねぐら・コロニー分布状況図の更新)
- 各県で行う取組の情報共有(個体群管理の取組等)

中山間地域振興部会

令和4年度事業

共同事業

1 中国5県地域おこし協力隊研修会

- (1) 概要：中国地方で活動する「地域おこし協力隊」を対象とした5県共同研修会を開催し、スキルの向上、ネットワーク化を図る。
- (2) 時期：令和4年10月17日（オンライン開催）
- (3) 内容：協力隊のスキル向上及び協力隊員や自治体職員等のネットワーク形成と情報交換を目的としたオンライン研修会を実施。

2 政策研究会

- (1) 概要：各県での取組成果や工夫など、担当者同士の情報交換の場を設定することで、相互の業務の参考とする。
- (2) 時期：10月、3月（担当者会議と併せてオンライン開催を予定）
- (3) 内容：『中山間地域における担い手人材確保・育成の取組』及び『中山間地域づくりにおける中間支援の現状』をテーマとして意見交換等を実施。

3 中山間地域対策担当職員スキルアップ研修会

- (1) 概要：中国地方の中山間地域対策を担当する県職員、市町村職員、その他関係機関等職員を対象としたスキルアップ研修会を開催し、地域支援に関する知識・ノウハウの習得を図る。
- (2) 時期：令和4年12月頃（オンライン開催を予定）
- (3) 内容：検討中



サイクリング部会

《目指す姿》

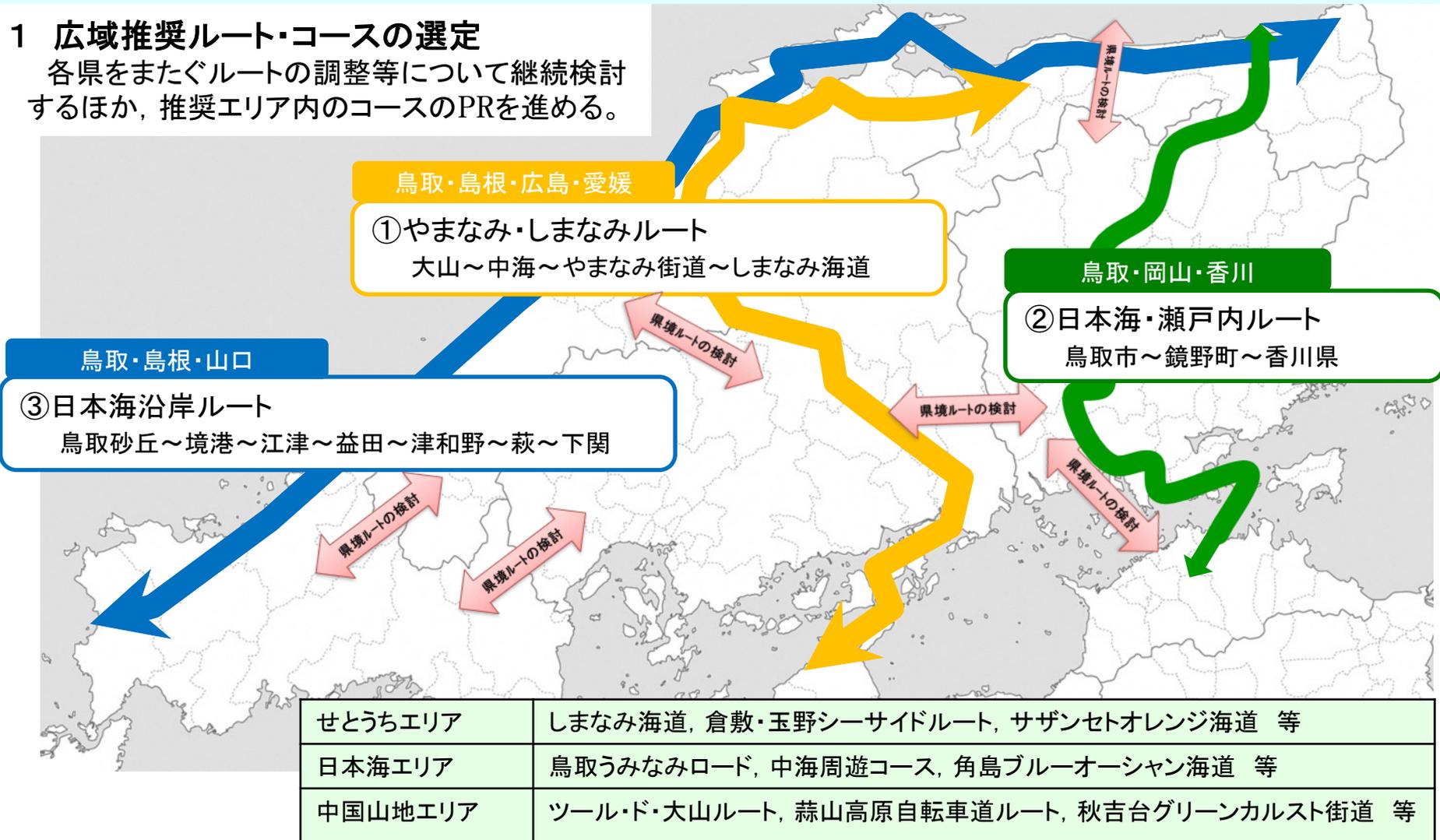
中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなっていること。

《目指す姿の実現に向けた取組》

- ①広域推奨ルート・推奨エリアの選定 ②サイクリストの受入環境の整備 ③情報発信に係る連携

1 広域推奨ルート・コースの選定

各県をまたぐルートの調整等について継続検討するほか、推奨エリア内のコースのPRを進める。



サイクリング部会

2 誘客促進・情報発信に係る連携（R3年度及びR4年度の取組）

○イベントへの出展【情報発信】

大阪府で開催されたイベントにおいて、「中国5県サイクリングマップ」や、各県のマップ等を配布するとともに、各県の観光情報やサイクリングキャンペーンについて情報発信を行った。

出展イベント①：サイクルモードライド大阪2022(大阪府吹田市:万博記念公園)

実施日：令和4年3月5日(土)～6日(日)

来場者数：11,030人

出展イベント②：中四国9県観光物産展(大阪府箕面市:みのおキューズモール)

実施日：令和4年5月28日(土)～29日(日)

来場者数：約500人



○サイクリングキャンペーンの実施【誘客促進】

中国地方5県が連携して、サイクリングを活用した観光振興を図るためのキャンペーンを実施した。

① 実施期間：令和4年3月1日～5月29日

② 内容：中国地方5県サイクリングマップに掲載している全62コース周辺を訪問した際の写真を、専用の応募サイトから投稿 ※撮影時期は問わない。抽選で、合計85名に投稿した県の特産品や、オリジナルデザインのサイクリンググッズをプレゼントした。

③ 目標参加者数：延べ1,500人

④ 実績：延べ1,339人

内訳)鳥取県 175人, 島根県 189人, 岡山県 152人,

広島県 635人, 山口県 188人



取組状況（予定を含む）

（１）ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

○商談会の共同開催

- ・中国ブロック合同広域商談会
（R4.10.20 [姫路市]、R4.11.8～18[オンライン商談]
（公財）鳥取県産業振興機構）



○商談会・展示会等の他県の参加促進

- ・中四国地域環境ビジネスネット(B-net)フォーラム
（時期未定 岡山県、岡山県産業振興財団主催）

（２）研究会・研修会の共同実施・相互参加

- 研究会・研修会等について他県を含め案内
（実施時期等未定）

（３）公設試験研究機関の連携強化

○人材交流

- ・中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会
（R4.10.24～25予定 四国地域部会主催）

○連携会議

- ・中国地域公設試験研究機関における知的財産管理活用に関する研究会(R4.10.13～14)
- ・中国四国地方公設試験研究機関共同研究(精密加工分野)推進協議会(時期未定 香川県に打診予定(幹事県))



新たな目標や課題

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

- ➡ 中国ブロック合同商談会や展示会出展企業交流会の継続開催
- ➡ 各県単独実施の商談会・展示会等の他県の参加促進
- ➡ 海外事務所を共同利用して取り組める事業の実施

(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

- ➡ 各県単独実施の研究会・研修会等について、他県を含め案内

(3) 公設試験研究機関の連携強化

- ➡ 公設試験研究機関の人材交流
- ➡ 公設試験研究機関の連携会議
- ➡ 中国知事会から発足した公設試験研究機関の連携会議

商談会等の
共同実施

研修会等の
相互参加



公設試の
連携強化

広域デジタル部会

連携テーマ 広域でのデジタル・ガバメント推進による、住民サービス向上と業務の効率化

- 【R2】各県におけるシステムの現況調査の実施
- 【R3】国の動向や各県の意向を踏まえ、システムの統一化等について、WGによる検討を開始。意見交換及び課題等の整理を実施。
- 【R4】引き続きWGでの検討を行い、本年度中に各システムの統一化等の方向性を決定。

システムの統一化等に向けた検討

- ・各WGにおける検討状況を踏まえ、令和4年度中に統一化等の方向性を決定。
- ・実施可能なものについては、次年度以降、各WGで取組を進めていく。

システム等	リーダー県	参加県(リーダー県以外)
セキュリティクラウド	島根県	鳥取県、岡山県、広島県、山口県
統合宛名	広島県	鳥取県、島根県、岡山県、山口県
地方公会計	山口県	広島県
校務支援	山口県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
震度情報	山口県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
道路情報	島根県	鳥取県、広島県、山口県
砂防情報	広島県	鳥取県、岡山県、山口県
水防関連・土木防災	山口県	鳥取県、広島県
公共工事積算	山口県	鳥取県、島根県、広島県
AIによる橋梁インフラ点検・ 診断に伴う教師データの共有	山口県	島根県、広島県

※ 水防関連・土木防災は関連性が高いため一体的に編成。

1. 次期防災情報システムの将来構想

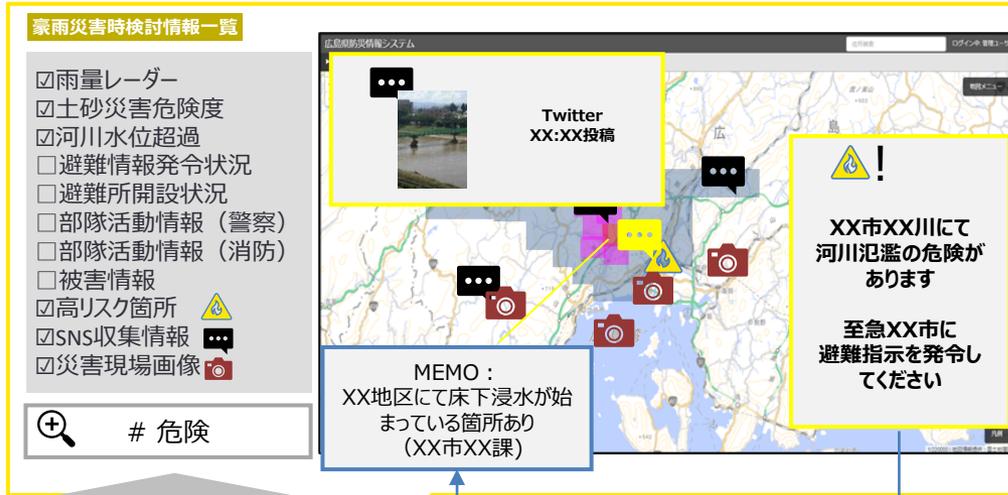
最新のデジタル機器や技術を活用することにより、リアルタイムで災害情報を収集し、関係者間で即座に共有情報が一元的に確認でき、意思決定や救助活動の迅速化の実現に向けたシステムを構築することで災害の予防や人的被害の軽減等を目指します。

次期システム導入後の対応イメージ（広島県の例 ※広島県の独自連携システムを含む）

インプット(システム連携)

- 県庁 危機管理監・市町**
 - 災害現場情報 ※
 - 施設被害情報 ※
 - 避難所情報 ※
 - AI防災チャットボット
- 県民**
 - SNS投稿情報 (Spectee)
- 県庁 土木建築局**
 - 観測情報 (DoboX)
 - 道路規制情報 (DoboX)
- 県警**
 - 被害情報 (災害警備システム)
 - 部隊情報 (災害警備システム)
- 他システム**
 - 気象・観測情報 (気象庁アデス)
 - SIP4D...等

アウトプット



インプット

市町職員や関係機関（消防等）から
スマホやシステム連携で情報を収集
メモ形式でGIS上に書き込みも可能

市町職員・消防等

県職員、市町職員が
同一の情報を基に
タイムラグなく対応

行政職員

アウトバウンド

県民向け防災情報

- 県ホームページ
- メール配信サービス
- DoboX
- 民間アプリケーション

他機関向け 防災情報

- 県警災害警備システム
- Lアラート
- 日本気象協会
- ウェザーニューズ
- SIP4D...等



県民・行政職員

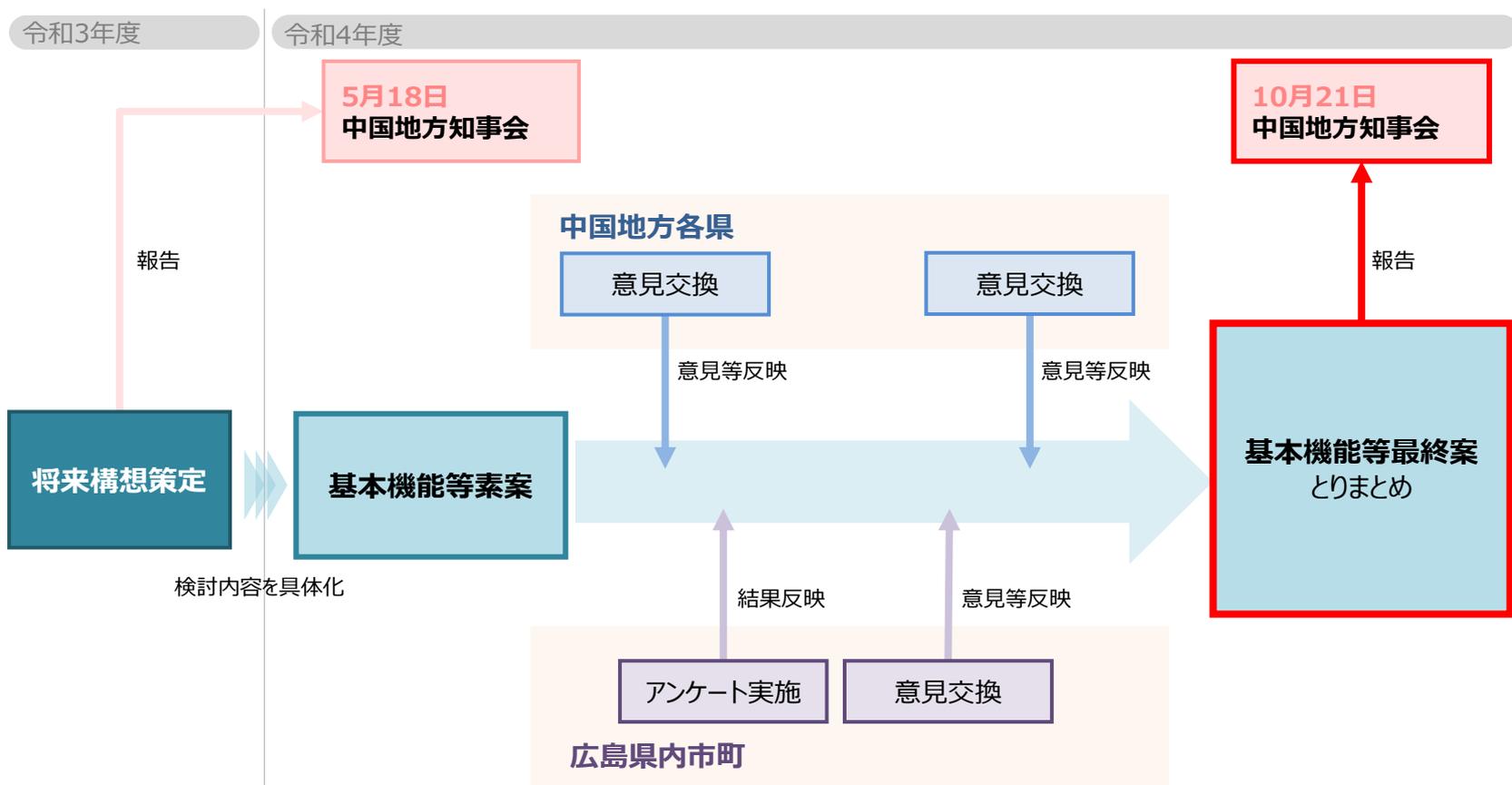


他システム



2.次期防災情報システム基本機能等に係るこれまでの検討経緯

次期防災情報システムの基本機能及び各県独自機能について、これまで中国地方各県及び広島県内市町と意見交換を複数回行い、最終案をとりまとめました。



3.基本機能一覧等 とりまとめ結果

意見交換し整理した結果は、以下のとおりです。



各県独自機能



4.スケジュール案

